

《 卒業生は今 》

－ 漁業に就職して感じたこと －

漁業高等学園では、昭和45年の設立以来、昨年度までの卒業生は902名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

No.32 Yくん (平成28年3月卒・機関専攻・現21歳) 遠洋かつお一本釣り漁船

Q. 仕事の内容は？

- * 機関場の異常がないか点検（当直）する。
- * 魚を釣ること。
- * ペンキ塗り。

Q. 大変なことは？

- * 低血圧なので、朝早く起きるのが辛い。
- * 仕事は覚える事が多く、かつ難しい。
- * 機械が故障すると寝ていても起こされ、機関全員で対処する。



Q. 良いこと、楽しいことは？

- * 自分の成長を実感できる。
- * 機関員だと若くても甲板の雑務をしなくて済む時がある。
- * 生き物の不思議な生態を見られる。

Q. 学園在学中の思い出は？

- * 乗船実習での激しい船酔い。

Q. 学園で学んだ（身に付けた）ことで、現場で役立っていることは？

- * ロープワーク（もやい結び、まき結び、二重結び）が役立っている。
- * 工具の名前を覚えたこと。

☆. 在校生へのアドバイス

- * 周りの人に気を使い、自分から動ける人になりましょう。
- * 船酔いは揺れに慣れてくると酔わなくなるので、それを理由に漁師を諦めるのはもったいない。

(平成29年4月7日)